

外国語科(英語) 担当教員:

使用教材: 使用教材: 教科書(デジタル教科書)、ワーク、リスニング教材など

【学習目標】

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
- ・目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解し、表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

1 年	4	5		6		7		8	9	10		11		12		1	2		3	
	Unit0	Unit1 be 動詞・ 一般動詞		Unit2 This/That 疑問詞①		Unit3 疑問詞②		Unit4 命令文 what＋名詞	夏 休 み	Unit5 前置詞・ 過去形	Unit6 三単現の s	Unit7 代名詞・ 疑問詞③④	Unit8 現在進行形 感嘆文	Unit9 不定詞	冬 休 み	Unit10 一般動詞 過去形	Unit11 be 動詞の過去形 過去進行形	Stage Activity		
	時間	4h	12h		12h		12h			12h		12h		12h		12h		12h		4h

学年
計 140h

2 年	4	5		6		7		8	9	10		11		12		1	2		3		
	Unit0 be 動詞の 過去進行形	Unit1 予定 be going to 5 つの文型		Unit2 接続詞		Unit3 不定詞		夏 休 み	Stage Activity	Unit4 have to, must 助動詞・動名詞	Unit5 疑問詞＋to It is～that	Unit6 比較表現	Let's Read	冬 休 み	Unit7 受け身	Stage Activity	Let's Read				
	時間	2h	15h		15h		15h		8h	15h		15h			15h		8h	15h		9h	

学年
計 140h

3 年	4	5		6		7		8	9	10		11		12		1	2		3				
	Unit0 受け身	Unit1 現在完了形① SVOC, SVOO	Unit2 現在完了形② 現在完了進行形	Unit3 It is ～for…to 不定詞	Let's Read &Write	夏 休 み	Unit4 SV00 (what 節)	Unit5 関係代名詞	Unit6 仮定法	Stage Activity ディベート		冬 休 み	Let's Read	Let's Read	まとめ								
	時間	3h	15h		15h		15h		12h		15h		15h		15h		10h		6h		6h		13h

学年
計 140h

○授業について

- ・英語で授業を進める時間が多くなります。集中して、諦めず粘り強く取り組みましょう。
- ・授業は教科書の内容を中心に進めていきます。また、学んだことを使って自己表現活動(スピーチ等)や応用的な内容を行うこともあります。

○生徒の皆さんへ

- ・「読む、聞く、話す、書く」といった活動の、一つ一つの積み重ねが英語力となります。
- ・大切なことは積極性です。「声を出すこと」、「英語を書くこと」などすべての活動に積極的に取り組みましょう。また、間違いを恐れず、授業中はたくさん挑戦しましょう。

○生徒の授業における ICT の活用について

- ・本文を聞く時や発音練習をする時にデジタル教科書を使います。
- ・外国文化などについての資料を視聴する際にデジタル教科書を使います。
- ・パワーポイントなどを導入に使用します。

○家庭学習はどのように取り組もう

- ・教科書の音読が重要です。基本的な英文が定着するためです。教科書についているQRコードを利用して、予習復習をしましょう。
- ・語彙、表現、文法は英語力の土台です。教科書に出た語彙・表現は覚えるまで練習し、ワークはできるまで繰り返し解きましょう。

○定期考査前はどのように取り組もう

- ・教科書の文章を音読し、ワークシートなどでポイントを復習し、頭に入れておきましょう。
- ・ノートやワークなどの問題を何回も解きましょう。繰り返すことで内容が定着します。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・上記の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションで活用できる技能を身に付けている	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に考慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価資料	・発表(スピーチ、スキット、ディベートなど) ・小テスト(単語・表現、基本文) ・定期考査(文法、語句) など	・発表(スピーチ、スキット、ディベートなど) ・レポート ・定期考査(英作文、リスニング) など	・授業への取り組み ・課題への取り組み(ノート、ワークなど) など

